



『つくられた心』

佐藤まどか／作 浦田健二／絵
ポプラ社 ¥1,400(税別)

近未来の日本、教室内の平和を守るためクラスにスパイ役のアンドロイドが紛れ込む。外見も感情も人間そっくりに作られた「それ」は16人の内の誰なのか。思春期のリアルな心が描かれた青春SF。背筋がスツと寒くなるラストも含めおすすめ。



『独裁政治とは?』

プランテルグループ／文 ミケル・カサル／絵 宇野和美／訳
あかね書房 ¥1,800(税別)

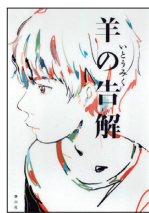
独裁者とは何もかも独り占めして命令する人であり、自分の国を思うがままに動かしている。人々は独裁者を恐れ言うがままになってしまう。ポップなイラストで分かりやすく独裁について説明し、自由について考えることが出来る一冊。



『奈良監獄物語』

寮美千子／文 磯良一／絵
小学館クリエイティブ／発行 小学館／発売 ¥1,200(税別)

明治時代に建てられたレンガ作りの美しい建物、旧奈良監獄の歴史物語。「受刑者の人権」を海外視察で学んだ山下啓次郎が、罪を悔いて再発する希望の場所にと考え設計した。スクラッチ・イラストレーションで描かれた絵も美しい。



『羊の告解』

いとうみく著
静山社 ¥1,300(税別)

中学3年生の涼平の日常は、父親が殺人容疑で逮捕されたことで崩れ去った。父親と同じ血が流れる自分は加害者なのか、被害者なのか。事件の真相を知らされない憤りを抱えつつ転校し、悩み迷い続けた彼が自身の思いと向き合う物語。



『BOOKMARK』

金原瑞人、三辺律子／編
CCCメディアハウス ¥1,500(税別)

翻訳文学の面白さを、多くの人に伝えたい!という、翻訳者たちの熱い思いから生まれたブックガイド。テーマごと16冊の海外文学を集め、翻訳者自身が自身の翻訳した本について紹介する。読書の世界を広げるきっかけとなる一冊。



『ぼくのまつり縫い』

神戸遙真／作 井田千秋／絵
偕成社 ¥900(税別)

周りの目が気になり好きな物を好きって言うのはなかなか難しい。ひよんなことから被服部を手伝うことになったサッカー部の優人。隠れ手芸男子の彼と彼を取り巻く人達がそれぞれの思いに向き合っていく。テンポもよく手に取りやすい一冊。



『moja』

吉田桃子／著
講談社 ¥1,300(税別)

中学2年生の理沙は毛深いことがコンプレックスで、学校でも毎日肌を隠して過ごしていた。誰にも悩みを話せずにいたが、家のお風呂が壊れて銭湯に通うことになり…。ありのままの自分を受け入れる勇気をくれる、少女の成長物語。



『リスタート』

ゴードン・コーマン／著 千葉茂樹／訳
あすなろ書房 ¥1,600(税別)

事故で記憶喪失になった13歳の少年が新たな生活を始める。悪ガキだった過去と向き合う事で心の葛藤が生まれ、事件も次々に起こる。そのことで一段と成長し人生を再出発する少年の物語。スピーディーな展開で一気読み進むことができる。

その他のおすすめの本



『天使のにもつ』

いとうみく／著 丹下京子／絵 童心社 ¥1,300(税別)

『瓶に入れた手紙』

ヴァレリー・ゼナッティ／作 伏見操／訳 文研出版 ¥1,500(税別)

『中西進の万葉みらい塾』

中西進／著 朝日新聞出版 ¥1,500(税別)

『「文系?」「理系?」に迷ったら読む本』

竹内薫／著 PHP研究所 ¥1,200(税別)

『長浜高校水族館部!』

令文ヒロ子／文 紀伊カンナ／絵 講談社 ¥1,500(税別)

『放課後の文章教室』

小手鞠るい／著 偕成社 ¥1,200(税別)

『秘密をもてないわたし』

ペニー・ジョエルソン／著 河井直子／訳 KADOKAWA ¥1,400(税別)